

## 氷見伏木信用金庫の本店・本部の建替え

### ポイント

- 氷見伏木信用金庫は、老朽化した本店および本部を建て替え、2025年3月、新本店・本部としてグランドオープンした。
- 新本店・本部は3階建てで、1階に本店営業部、2階に本部を構える。働きやすさや柔軟性を重視し、本部執務室のフリーアドレス化やWi-Fi設置などを行っている。
- 同金庫は、新本店・本部のグランドオープンに合わせて近隣の2店舗を本店営業部に統合し、地元における金融サービスの質を向上させた。
- 駐車場の拡充などから顧客利便性が向上し、また職員エンゲージメントも高まるなど、同金庫の本店・本部の建替え効果は大きいと評価される。

### 1. 本店・本部の建替え

富山県氷見市に本店を置く氷見伏木信用金庫は、2025年3月、新本店・本部をグランドオープンした（図表1・2）。これまで同金庫は本店と本部が別の建物であり、特に本店建物は築70年を超えるなど老朽化が著しかった。

同金庫は数年前から本店と本部の建替えを模索するなか、国道415号線沿いの好立地を取得できた。そこで同金庫は本店および本部を同一建物として新築移転することとし、2021年1月、庫内に本店建設委員会を立ち上げた。同金庫、地元の設計事務所ともに金融機関の本店・本部の建設ノウハウが乏しかったため、他信用金庫の視察や外部専門企業のアドバイスを受つつ詳細を詰めていった。なお、新本店・本部の建設は、2024年1月の能登半島地震の影響を直接受けることなく、計画通りに進み、2025年3月3日のグランドオープンに至っている。

（図表1）同金庫の概要（24年度末）

本店所在地	富山県氷見市
設立	1929（昭和4）年8月
預金残高	1,026億円
貸出金残高	264億円
店舗数	5店舗
役員数	70人

（図表2）新本店・本部の外観



（備考）図表1から5まで信金中金総研作成・撮影

## 2. 新本店・本部の概要

新本店・本部は鉄筋コンクリート造りの3階建てで、1階に本店営業部、2階に本部、3階に大会議室と職員食堂を構える。同金庫は自金庫の身の丈を考慮しつつも、近年の金融機関本店・本部らしい仕様を実現すべく、ペーパーレスを徹底のうえ、本部執務フロアのフリーアドレス化やWi-Fiの導入、オンラインミーティング用のブースを設置するなどした（図表3）。また本店営業部は営業店窓口支援システム導入によるローカウンター化を図り、ロビーにはコンシェルジュ席も設置する（図表4・5）。そのほか休日相談会や各種イベント対応も可能なレイアウトにした。

（図表3）本部執務フロア



## 3. 店舗網の再編成

同金庫は新本店・本部の建替えに合わせて、近隣2店舗（北部支店および西部支店）を本店営業部に統合している。これによって3店舗・1本部を1つの拠点に集約でき、経営の効率性を高められた。また、新本店・本部には30台の顧客駐車場を確保しており、顧客の利便性も向上したと考えられる。なお、同金庫は旧本店、本部、2店舗の跡地にATMを残さず、売却などの対応を図っていく方針である。

## 4. 今後の展開

営業店窓口支援システムの導入や、コンシェルジュ席に設置などから顧客向けサービスが向上し、また職員エンゲージメントも高まるなど、同金庫の本店・本部の建替え効果は大きいと評価される。

（図表4）本店営業部



（図表5）コンシェルジュ席



本レポートは発表時点における情報提供を目的としており、文章中の意見に関する部分は執筆者個人の見解となります。したがって、投資・施策実施等についてはご自身の判断をお願いします。また、レポート掲載資料は信頼できると考える各種データに基づき作成していますが、当研究所が正確性および完全性を保証するものではありません。なお、記述されている予測または執筆者の見解は予告なしに変更することがありますのでご注意ください。